

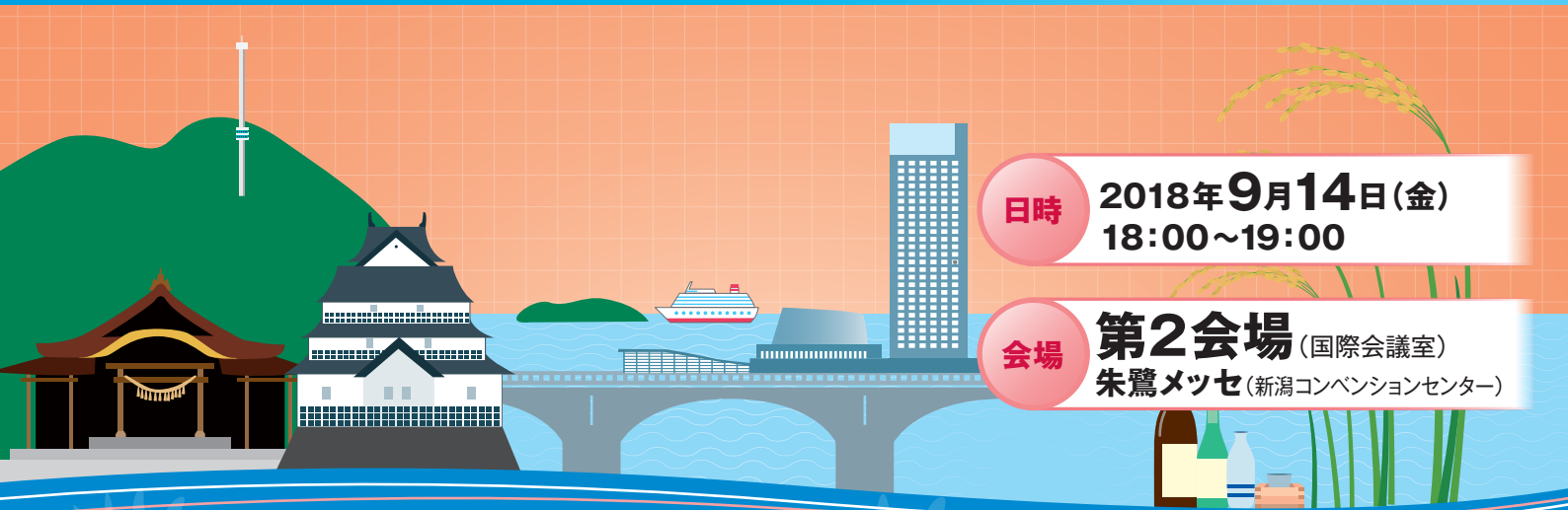


第29回

日本緑内障学会

イブニングセミナー2(ES-2)

隅角から緑内障を科学する



日時

2018年9月14日(金)
18:00~19:00

会場

第2会場 (国際会議室)
朱鷺メッセ (新潟コンベンションセンター)

座長

谷原 秀信 先生

熊本大学医学部附属病院 病院長



講演
1

開放隅角緑内障の眼圧上昇の機序と
治療方法を科学する!

相原 一 先生

東京大学医学部 眼科学教室 教授



講演
2

Current management of
asymptomatic
narrow angles

Prof. Tin Aung

Singapore National Eye Centre, Singapore/
National University of Singapore, Singapore



丁寧に正確な隅角検査は緑内障診療における病態把握の基盤であり、その所見は治療方針の決定に大きく関与する。開放隅角緑内障では、薬物療法、レーザー療法、手術療法など、多彩な治療手段が幅広く用いられており、特に近年、ROCK阻害薬や低侵襲緑内障手術の導入に伴い、主流出路の基礎・臨床研究による知見が飛躍的に広がっている。一方、閉塞隅角緑内障の場合は、レーザー療法や手術療法による隅角閉塞機序の解消が重要であるが、その病態把握と治療選択に関しては、まだ多くの議論がなされている。

本セミナーでは、緑内障研究の最前線で世界的に活躍されておられるTin先生、相原先生に隅角からみた緑内障研究の最前線をご講演いただく。科学的な視点に立って「開放隅角」「狭隅角」、そして「眼圧上昇」の病態を理解し、より確実な診断、より効果的な治療選択について考えてみたい。



本セミナーでは同時通訳を設けています